



1914 リーガルアンダーズーンツーリング



製造情報

製造商	リーガルモーターカー
組付工場	リーガルピケットアベニュー工場 - デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	不明
総生産量	8,000
馬力	25
重量	2,345ポンド/ 1,064キログラム
当時売価	\$950 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)
ユニークなシャシーで重心が非常に低い
新しいリアアクスルデザイン - 軽量化
電気スターターが今年導入された
3速トランスアクスル

ユニークなアンダースローシャーシ

生産地はここから西に行ってピケットとウッドワードの交差点の近く、リーガルは1908年から1918年まで(11年間)他の平均より優れる成績が保有しました。それは多くの小さな自動車メーカーの時代であり、その環境で、リーガルはかなりうまくいった。1910年に22,000マイルの耐久走行ができて、ロードマップに名前を載せえたから、その後のスポーティな「アンダーズーン」モデルも非常に人気がありました。他の小規模、独立生産メーカーと同様に、リーガルは、特にイギリスに、活発な輸出業務を楽しみました。またRegalは業界の動向を踏まえて1915年にV-8エンジンを発表しました。私は会社の崩壊が第一次世界大戦による材料不足を非難されました。この車の特徴は4気筒、25馬力のエンジンと108インチのホイールベースを備えています。

ディックとスコット・サムスによってピケットに寄付されました。スコットはピケットTの非常に活発なメンバーです-この博物館でモデルTクラブのホストです。